

城東学園

新たな学園づくり地域検討委員会

だより No. 2

「小中一貫教育」って何だろう？ 検討委員会と意見交換会が開催されました

城東学園新たな学校づくり地域検討委員会では、平成29年12月12日に第1回検討委員会を、平成30年1月31日に第2回検討委員会を開催しました。

委員会では、小中一貫教育にふさわしい学園・学校の在り方を検討する上で大前提となる「小中一貫教育」について、市教育委員会の説明や、学園内の各学校の取組状況について報告がありました。さらに、小グループに分かれてグループ協議などを行い、小中一貫教育についての理解を深めました。

また、1月19日には、城東学園新たな学園づくり地域意見交換会が開催され、37名の皆さんに御参加いただきました。意見交換会ではまず、小中一貫教育が必要となる社会的背景や、掛川市が目指す小中一貫教育の内容について説明があり、その後参加者から多数の質問、意見等が出されました。意見交換会で出された意見は、第2回検討委員会で報告され、今後の検討の際に参考にしていきます。

【検討経過】

- ・第1回地域検討委員会（12/12） 大東北公民館
- ・第1回地域意見交換会（1/19） 大東北公民館 37名が参加
- ・第2回地域検討委員会（1/31） 大東北公民館

検討委員会、意見交換会で配布された資料、会議の概要は、掛川市のHPに掲載されていますので御覧ください。

検索

城東学園 地域検討委員会



意見交換会の様子（1月19日）



新たな学園づくり地域意見交換会で出された主な御意見・御質問

【御意見・御質問1】

一人一人に目の行き届いた教育ができるのが小規模校であって、少人数の方が効果があると思う。

【御意見・御質問2】

母校がないという地区に若者がUターンして戻ってくることは期待できないため、学校は統廃合して欲しくない。

【御意見・御質問3】

保護者の意見を聞くべきである。

【御意見・御質問4】

小学6年生は、最上級生としてまとめることを経験した上で、中学校に上がっていくというのがメリットになっていると思う。一体校になった時に、6年生の位置付けが最上級生でなくなると、こういった形になるのか。

【事務局回答】

子どもの実態に応じてリーダー性を付ける時期というのはあると思います。小中一貫教育を進めれば、もう少し早い時期に子どもにリーダー性を身に付けるなど柔軟な対応ができます。

【御意見・御質問5】

これは学校の統廃合の問題ではないのか。佐東小は残るのか、それとも他の小学校と一緒にするのか。

【事務局回答】

新たな学園づくり地域検討委員会で、地域の皆さんと一緒に城東学園の将来の学校の在り方を検討していきたいと考えています。

第3回新たな学園づくり地域検討委員会の開催について

日時：平成30年3月16日（金） 午後7時から

場所：大東北公民館

内容：小中一貫教育を行っていく学校の在り方について

それぞれの学校の在り方のメリット、デメリットの検討 等

第3回、第4回の検討委員会で検討した内容を、第2回の地域意見交換会で報告して、地域の皆さんの御意見を伺う予定です。

御意見・御質問等ございましたら、お寄せください。

発行・編集
掛川市教育委員会 教育政策室

〒436-8650 掛川市長谷一丁目1-1
電話：0537-21-1109 FAX：0537-21-1222
E-mail：kyoikubu@city.kakgeawa.shizuoka.jp

